

## 第二回中央公園第二期整備計画推進会議 会議録

【日時】 平成 31 年 3 月 13 日（水） 午後 2 時～3 時 30 分

【場所】 豊田市役所南 51 会議室

### 【出席者】

#### 第二回中央公園第二期整備計画推進会議構成員

区 分	名 称	役 職	氏 名
地域経済代表	豊田商工会議所	会頭	三宅 英臣
	トヨタ自動車株式会社	総務部管財・渉外室担当部長	植松 良太(代理)
地域まちづくり代表	豊田まちづくり株式会社	代表取締役	河木 照雄
	豊田市区長会（高橋地区）	地区会長	鈴木 正和
	豊田市区長会（美里地区）	地区会長	鬼頭 英司
商業・事業者等	株式会社 豊田スタジアム	代表取締役社長	山本 秀樹
	名古屋鉄道株式会社	経営戦略部 課長	野田 佳宏(代理)
	株式会社 J T B	事業推進担当部長	羽田 英司
	一般社団法人ツーリズムとよた	事務局次長	成瀬 剛史(代理)
市民等関係団体 （公園利活用）	とよた市民活動センター	所長	林 康彦（欠席）
	公益財団法人豊田市体育協会	常務理事	幸村 的美
	豊田森林組合	組合長	鈴木 誠美
	豊田市アーバングリーン協会	会長	板倉 重治
	夢農人とよた	相談役	大橋 鋭誌(代理)
	一般社団法人おいでん・さんそん	代表理事	鈴木 辰吉
	子育て支援団体キッズプランナー	代表	有我 都
	とよた下町おかみさん会	会長	河原 郁子
行政機関	豊田市	市長	太田 稔彦(欠席)

オブザーバー	愛知県公園緑地課	課長補佐	瀬田 吉明(代理)
	株式会社名古屋グランパスエイト	広報コミュニケーション部長	梅村 郁仁(欠席)

## 【議事内容】

### 1 開会

### 2 議事

#### 1)中央公園第二期整備計画策定のこれまでのふりかえりについて

⇒事務局より説明

#### 2)中央公園第二期整備の基本構想（計画区域）について

⇒事務局より説明

#### 小林氏（有識者会議座長）補足説明

市民ワークショップ第一回に出席したが、その後、市民の意見が場所におとされた図面がでてきたことだと思う。

前回8月のワークショップの議論では、豊田らしさが無いと言われていた。これまでに検討されてきたが、まだ少し弱いかもしれない。これに大きいテーマを載せていくべきではないか。

参考にした事例がいくつかあるが、日比谷公園は人々が憩いを求めて訪れ、イベントのための野外音楽堂などがある。各務原市の公園、学びの森では市民が自主的に緑を管理する文化があり、管理をボランティアが担っている。千葉県のアンデルセン公園はアスレチック系の公園であり、健康をテーマにしている管理のしっかりした公園である。

完成するのが10年後となり、今決められることと難しいことがある。水に浸かるところがあり、浸からないところは避難地として使う。建物は水が浸からないところに設ける形とする。計画としては進んできたように思う。特徴がない部分は今後の余地として考えていく。

## 【質疑応答】

### （構成員）

家族が小さい時に行くところは鞍ヶ池や市外の公園だった。ぜひ市民の人が来る公園にしたい。その例として今まで遊園地を提案している。鞍ヶ池、自然観察の森、エコフルタウン、森林を学ぶ施設もある。ここに小さいものを作るより、今あるところを活かしたほうがいい。

スタジアムを生かした中央公園というテーマを議員が研究している。矢作川でもミズベリングが進んでいる。街中でも銀行跡地において動きがある。そういう人たちと一緒に議論できるといい。

寺部小学校の建設の際に地域の会議に出席した。その中で職員室のレイアウトが議論にならなかったのだが、結果的にできたものをみたら、真ん中に柱がたっていたということがあった。具体的に何か作るときに、皆さんの意見が聞けるタイミングがあるといい。

(事務局)

市内の人が市内で楽しむというところは大事である。そのために市内で活動している人たちにヒアリングを行った。子供達が楽しめる空間として、遊園地などの遊戯系も民活導入やアスレチックも検討したい。まちなかや水辺の方々も意見をということだが、連携していきたいと考えている。設計に移るが、今後もご意見を伺っていききたい。

(構成員)

まちなかと水辺と公園と一緒に議論というのは賛成。バラバラに進めるとバッティングしてしまう。それぞれの価値を最大化してやるべき。ぜひ連携したい。

フォレストレガシーパークとあるが、森林が体験できるといった内容だと思ったが、プランをみると、もう少し、体感させる、感じさせるといった切り口があればと思うがどうか。

(構成員)

森ということであれば、自然観察の森、毘森公園や児ノ口公園がある。そういった場所を活かしていくのでいいと思うが。

(事務局)

開園時から市民が植樹など、森を育てる取り組みをして、森をつくっていくことを考えたい。基本設計でその規模感を検討していきたい。必要な建物については、建蔽率のなかで、倉庫など必要なものを整理していく。

(構成員)

地域資源や森林の価値をうまく表現して行ってほしい。是非よろしくお願ひしたい。表現の仕方を間違えると、伝わらなくなってしまう。コンセプトであるフォレストレガシーを大事にしてほしい。

小林氏（有識者会議座長）

ここ自体を森とするのではなく、豊田市にはさらに奥に山林がある。現在は田舎と都心の繋がりががないため、森へ誘うゲートウェイとして機能させる事が大事。

(構成員)

5つのテーマについては教科書通りでよいと思う。これが故に豊田らしさがでないのでは。例えばランドマークで鉄塔たてるとか、ここが豊田の中央公園と示すランドマークが欲しい。5つのテーマについても、それぞれに対して他の場所とは異なる差別化をしたい。

また、民間の立場で考えると、この広い面積の維持管理費は相当なものである。維持管理費も含めてお金の問題について市民が納得するところをはっきりとさせた方がいい。地域と一緒に豊田らしさを考えるべきである。

(構成員)

我々が足りないと思っているのが、民間のアイデアである。豊田市を代表する公園となる。エリアで勝負する公園。まずはコンセプトをばっちり作ったうえで、市民がどういう公園が欲しいのか、そこをしっかりとした上で、民間に入ってもらいたい。来年度から民間への相談をしていきたい。

### 3)今後の事業スケジュール目標について

⇒事務局より説明

(構成員)

地区にスタジアムの前の地主が結構いる。この工程表をみると、2021年から用地取得とあるが、進め方はどのように考えているのか。段階的に取得していくようだと単価も変わって来るのではないかと。

(事務局)

用地に関しては4月以降に地権者の方々に対して、都市計画決定のための農振除外について、地権者の方々に説明を行なって行く。そのなかで用地取得についても説明を行なって行く。

(構成員)

継続的に説明してくということか、年度を区切って行くということか。

(事務局)

エリアを区切っていく用地交渉をしていく。

(構成員)

健康づくりという言葉について、資料中にはないが、高齢化社会に対応する考えだと思いが、どのように考えているか。

(事務局)

アスレチック広場や健康づくりなどはハーフメイド広場で展開したい。サッカーグラウンドについても市民利用を行って行くので、健康づくりについても整理し、さまざまな展開を図っていきたい。

(構成員)

スタジアム連携ということで、ありがたい話である。連携という中で、豊田北高校の前にもグラウンドがあり、それを含めて3面のグラウンドができる。各種の大会や全国的なスポーツツーリズムのイベントができるので、期待をしている。

スタジアムの芝生は毎年張り替えを行なっている。芝は廃棄しているが、10年の間で10回張り替えがあるので、再利用できればと考えており、市民の方の関わりの

中で活用していただくような形がとれればと思う。

駐車場も準備されているが、時間軸を考えると、用地買収が進んだ段階で、すぐに活用ができるようにしたい。橋の下音楽祭でも駐車場が不足してスタジアムの駐車場を貸している。イベントを盛んにやるためにも早めの稼働が望まれる。

(事務局)

芝生の件はとてもありがたい。市駅東口に整備する拠点施設の横ではスタジアムの芝を使わせていただく。中央公園についても是非連携していきたい。駐車場に関しても出来る範囲で協力していきたい。

(構成員)

用地取得の時に、タイミングをずらすということだが、単価は一緒なのか、どうなのか。こういうことは一緒に決めておいたほうがいい。最初に売った人と最後に売った人の差が出来るの。

(事務局)

大幅な価格変更がない場合、単価を統一する可能性もある。今後の検討課題とさせていただきます。

(構成員)

民間の維持管理費について、大阪城公園の例を調べた。民間に任せて、収入の7パーセントが行政に入るスキームとなっている。宇都宮ではゼビオが健康づくりポイントを配布して買い物に使えるようにしている。豊田でも導入ができるかもしれない。

また、下村大臣が日本遺産ということで60箇所程度登録している。50年以上何かに携わると登録できるので、登録できれば魅力的になる。大阪万博が決まったが、吉本が公園管理に携わって行く考えもあるようだ。情報提供としてお伝えする。

(事務局)

是非アイデアについても検討していきたい。

小林氏（有識者会議座長）

10年間どう市民の盛り上がりを担保していくかがとても大事。少なくとも10歳の子供が20歳になっている。出来るだけ子供を連れてきて、プレイヤーを育てて行くべきPFI的な仕組みも実験的にさまざまな企業に参加してもらっていい。3年間ではなくその先も計画していきたい。これに民間も含めて整理していきたい。

市民と一緒に作る公園として、豊田市には先例を作ってもらいたい。皆さんと是非議論しながら進めていってほしい。

閉会挨拶

以上